

学校だより



横浜市立つづきの丘小学校

つづきの空

9月号

令和8年8月27日

～高めよう学び 広げようつながり 輝こう未来へ つづきの丘の子～

夏休み明けに思うこと

校長 山岡 久美子

夏休み明けの話をします。

今朝、通用門に立ち子ども達たちを迎えていると、大きな手提げを抱えながら、子ども達がやってきます。「おはようございます」「元気だった？」どの子も笑顔で挨拶を返してくれました。

嬉しい気持ちで朝会に向かいました。どの学年の子ども達も視線を前に向け、しっかりと先生の話聞くことができていました。

その後、授業の様子を見に教室を回っていると、どの学級においても、子ども達の笑顔に出会うことができました。ある学級では、すごろくを通して夏休みの出来事を楽しそうに話していました。担任もにこにこ顔で会話に参加しています。また、ある学級では、休み中に作った工作をみんなに披露していました。担任も身を乗り出して感心しています。「すごいね。」「どうやって作ったの。」と質問や歓声が飛び交っていました。私のそばにいた児童が「僕もロボット作ったんだよ。机の上の袋の中にあるんだ。」と得意そうに教えてくれました。そっと袋をのぞいてみると、愛らしいロボットの姿が。一生懸命作った様子が目に浮かびました。

休み時間には、頑張って取り組んだ自由研究の作品を見て、称賛し合い、友だちの話に耳を傾けながら一緒に楽しむ姿がみられました。

夏休み明けに思うこと。「やっぱり、学校はこうでなくては。」ということです。子どもも教師も楽しいのが学校なのだと強く感じました。

いよいよこれから前期のまとめの時期を迎えます。これからも子どもも教師も一緒に楽しむことのできる学校づくりを目指します。引き続きご協力をよろしくお願いいたします。